

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業計画(例)

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 円と球（9時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
B(1)ア(ウ) 円について, 中心, 半径, 直径を知ること。また, 円に関連して, 球についても直径などを知ること。	B(1)イ(ア) 図形を構成する要素に着目し, 構成の仕方を考えるときにも, 図形の性質を見だし, 身の回りのものの形を図形として捉えること。

【主な学習活動と留意点】

前単元・内容からのつながり：いろいろなかたち（小学校第1学年）ころがしたり, 重ねたりする活動を通して, 丸い形の機能性を考える。

働かせる見方・考え方：平面図形の特徴を, 図形を構成する要素に着目して捉えたり, 身の回りの事象を図形の性質から考えたりすること。

段階	学習活動（時間）	留意点
もつ 単元の見通しを	1 具体物から円や球を見つけ, 単元の目標を見いだす。(1)	<p>学習内容の動機付けをする場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 正方形や円を回転させ, 実際に円や球が見えるようにする。 正方形は辺の長さが全て等しいという既習事項を使って, 円に見えた理由を考えられるようにする。
問題解決を通して知識・技能を学ぶ	<p>2 円の定義, 中心, 直径, 半径を理解する。(2)</p> <p>3 コンパスを用いて円をかき, コンパスの機能を理解する。(1)</p> <p>4 コンパスを使った模様づくりやコマをつくる活動を通して, 円のもつ美しさに触れる。(2)</p> <p>5 日常生活の中にあるボールの形をしたものを調べ, 球の中心, 直径, 半径について理解する。(2)</p>	<p>知識・技能を習得し, 活用する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 正方形を回転させることで見えてくる形（円）と正方形の一边の長さの関係や, 円の形の紙を折ってできた折り目をもとに考えるようにする。 コンパスは, 長さを写し取る機能があることを理解できるようにする。 粘土でできた球を切るなど, 球の内部にある中心や半径, 直径の長さは全て等しいこと, 球の切り口は全て円になることなどを, 体験的に理解できるようにする。
学びを振り返る	6 単元のまとめの問題を解き, 学習内容の理解の習熟と確認をする。(1)	<p>自分の学びを振り返る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> □にあてはまる数や言葉をかいたり, コンパスを使って長さを写しとったり絵をかいたりできる問題に取り組めるようにする。

次単元へのつながり：円と正多角形（小学校第5学年）